

魅力発信！えひめ農業NOW

令和4年6月

【お知らせ】

魅力発信！えひめ農業NOWは、県ホームページ(※1)で、県下全地区の内容について、閲覧できます。

※1 掲載場所：ホーム＞仕事・産業・観光＞農業＞農業の魅力発信

※2 この動向は、6月中に各普及地区から報告のあったものをとりまとめたものです。

～愛媛県農林水産部農業振興局農産園芸課～

〒790-8570

愛媛県松山市一番町4丁目4-2

(TEL) 089-912-2558

(FAX) 089-912-2564



<http://www.pref.ehime.jp/noukei/>




目次





目次	1
6月のトピックス5選	3
「さくらひめ」の種子生産順調	3
県オリジナル品種いちごのワインづくりを支援	3
「さくらひめ」鉢物の認知度向上に向けてPR	4
復旧園地における効果的な苗木植栽を支援	4
AI選果機の精度向上に向けた実証を計画	5
えひめ農業NOW	6
■東予地方局 地域農業育成室	6
夏秋きゅうりでJA間の共同選果を実施	6
秋の収穫目指して、神戸小学校で食育活動	6
Zoomを活用した就農相談会の開催	7
■東予地方局 地域農業育成室 四国中央農業指導班	7
四国中央市の産地統一ブランド茶「結の霧ひめ（ほうじ茶）」のPR販売	7
有害鳥獣捕獲設備を有効に活用しよう！見回り活動・調査を実施	8
■今治支局 地域農業育成室	8
大西小学校「ひめの凜」田植え体験学習	8
さといもの優良種苗生産を目指したセル苗定植講習会を実施	9
令和4年度農作業安全講習会を開催	9
■今治支局 地域農業育成室 しまなみ農業指導班	9
女性農業者が儲かる農業に向け実践研修を受講	10
岩城中1年生が農業体験	10
■今治支局 産地戦略推進室	11
花木新規栽培者説明会、現地見学会	11
しまなみ農産物のブランド化に向けて地元学生、事業者等と連携強化	11
■中予地方局 地域農業育成室	11
さといも「愛媛農試V2号」の優良種苗確保に向けて	12
七折小梅の生産安定対策で視察調査を実施	12
天敵を利用した自然薯の栽培	13
青年農業者対象の農業機械研修会を開催	13
スクミリンゴガイ実証ほ場でドローンによる防除を実施	14
■中予地方局 地域農業育成室 久万高原農業指導班	14
ピーマン収穫作業の労力補完の推進	14
猛暑期における熱中症及び農作業安全の啓発	15
雑穀の植え付け始まる	15
■中予地方局 産地戦略推進室	16
パクチーの夏季栽培開始	16
■南予地方局 地域農業育成室	16
スクミリンゴガイの防除対策を呼びかけ	16



新規就農者夫婦が家族経営協定を締結	17
女性農業委員等が農薬の適正使用について学ぶ	17
地方局予算事業「儲かる農業人材育成事業」を活用し新規就農者の定着を支援	18
青年農業者の研修活動を支援	18
■南予地方局 地域農業育成室 鬼北農業指導班	19
松野町で農作業安全講習および草刈りロボットの実演会を開催	19
夏秋きゅうりの品種選定試験を実施	19
■南予地方局 地域農業育成室 愛南農業指導班	20
南宇和高校生に「河内晩柑」のせん定を指導	20
「河内晩柑」の自根発生による影響を農家説明	20
新規就農者がブルーベリー栽培に意欲	21
オンライン柑橘栽培講演会を開催	21
高校生に河内晩柑の現状について講義	22
■南予地方局 産地戦略推進室	22
アボカド新規栽培者へ巡回指導	22
道の駅「みま」戦略会議の開催	23
松野町でうめの収穫体験研修会を開催	23
■八幡浜支局 地域農業育成室	24
冷蔵貯蔵の「清見」販路拡大に向け商品 PR	24
新規に GLOBAL G. A. P. に挑戦する生産者を現地指導	24
女性起業家に食品営業許可制度と衛生管理を周知	25
■八幡浜支局 地域農業育成室 大洲農業指導班	25
夏越しきゅうり出荷量増産に向け現地講習会を開催	25
新規就農者へのフォローアップで定着支援	26
■八幡浜支局 地域農業育成室 西予農業指導班	26
地元農高生の水稻栽培への理解を深める	26
スマートな水管理！自動給水装置を設置	27
にんにく掘り取り機導入に向けた実演	27
大野ヶ原にんにく収穫体験交流会の開催	28
ぶどうの摘粒指導と併せてアシストスーツを紹介	28
■八幡浜支局 産地戦略推進室	29
加工用青ねぎの安定生産に向けた調査と新たな検証	29
フィンガーライムの加工品開発が一步前進	29
■農産園芸課 企画調整グループ	30
継続的な食農教育の実践により「第6回食育活動表彰」消費安全局長賞を受賞	30
「農山漁村は女性の活躍無限大∞」男女共同参画の意識向上に向けた研修会を開催	30
■農産園芸課 高度普及推進グループ	31
「ひめの凜」の中干講習会の開催	31
「甘平」の裂果対策の実証に向けた生育確認	31
東予地区でさといもの栽培管理の意識統一	32


6月のトピックス5選

標 題	「さくらひめ」の種子生産順調		機関名	東予局産地戦略推進室
年月日	令和4年6月2日～	場所	新居浜市別子山地区	
指導対象	(有)別子木材センター（1人）	連携機関	農林水産研究所	
普及指導内容	<p>○昨年に採種した約20万粒を採種時期別に区分して、発芽率や草姿・花色・花型等に異常がないか確認する検定試験を実施している。</p> <p>○昨年9月に発芽率90%以上を確認した後、10月に別子木材センターにおいて定植を行い、6月の開花期に9項目を調査しているところ。</p> <p>○今年の採種は、子房親（母株）の開花直前の蕾を開いて葯を除去し自家受粉できないようにする除雄作業が、低温の影響で昨年より2週間遅れの5月23日から開始。父株花粉との交配作業が遅れないよう、小さな蕾を含めた一斉除雄を指導した。</p>			
結果と今後	<p>○検定試験は、今のところ草姿・花色・花型等に大きなばらつきはないので、最終結果を判断した後、7月上旬から種子を販売する予定。</p> <p>○今年の採種については、除雄及び交配作業のピークは6月下旬で、採種量は昨年と同様に20万粒を見込んでいる。</p>			
				<p>左：検定試験で草姿等を確認 右：母株の除雄作業</p>



標 題	県オリジナル品種いちごのワインづくりを支援		機関名	今治支局産地戦略推進室
年月日	令和4年6月22、24日	場所	今治市上浦町	
指導対象	いちご観光農園（1戸） (株)大三島みんなのワイナリー	連携機関		
普及指導内容	<p>○「株式会社大三島みんなのワイナリー」が取り組む愛媛県オリジナル品種いちご「あまおとめ」を原材料としたワインづくりを支援した。</p> <p>○ワイナリーといちご農家をマッチングするとともに、収穫作業と果実調整作業等を通して高温期のいちご果実の活用法を検討した。</p>			
結果と今後	<p>○2日間の収穫で約160kgの果実を収穫し、現在スパークリングワインとして醸造中。</p> <p>○新たな特産品の開発は、ワイナリー及び観光農園双方にメリットがあるとともに、当室は、高温期に傷みやすいいちご果実の新たな活用法としても期待している。</p> <p>○ワイナリーでは、島内で生産された温州みかんを原料としたスパークリングワインも完成しており、当室は市内観光施設等での販売支援等を通して商品を宣伝する予定。</p>			
				
収穫後の調整作業		ワイナリーでの醸造作業		醸造前のいちご

標 題	「さくらひめ」鉢物の認知度向上に向けて PR		機関名	中予地方局産地戦略推進室
年月日	令和4年4月25日～6月14日	場所	Instagram、HP、観光施設等	
指導対象		連携機関	中予管内観光施設等	
普及指導内容	<p>○HPによる産地情報の発信及び Instagram キャンペーンの実施</p> <p>○フォトスポット設置（5ヶ所）及びPRチラシの配布</p> <p>○市場・販売店・購入者からの評価及び要望調査</p>			
結果と今後	<p>○フォロワー185人、投稿閲覧回数234,683回（Instagram 広告含む）、投稿数107件。第2回キャンペーンは11月に実施予定。</p> <p>○購入者からは、「愛媛県オリジナルなのが良い」「花の雰囲気が良い」等総じて評価は良好であったが、花の鑑賞期間や下葉の黄化等に対する指摘があった。</p> <p>○市場等からは、3～4月の卒入学式時の出荷や小鉢での出荷要望を確認。</p> <p>○7月以降、下葉の黄化対策や3月出荷に向けた実証ほを設置予定。</p> <p>○これらの調査結果について、7月に開催する研修会で、市場からの需要動向やPR結果を報告するとともに、引き続き、さくらひめ鉢物の認知度向上・販路拡大に取り組む。</p>			
				
	Instagram 広告	フォトスポット設置	PR チラシの配布	



標 題	復旧園地における効果的な苗木植栽を支援		機関名	南予地方局地域農業育成室
年月日	令和4年6月7日	場所	宇和島市吉田町河内地区	
指導対象	柑橘園地復旧農家	連携機関	JAえひめ南、宇和島市、地方局農村整備課	
普及指導内容	<p>○30年豪雨で被災した園地における復旧後の営農支援として、関係機関と連携し、土木用オーガ（らせん穴掘り機）等を活用した効果的な苗木の植栽方法を検討。</p> <p>○復旧工事を終えた農家から、工事の過程で園地の土壌が固く締まり、苗木の植穴掘りが困難になっているとの声を受け実施したもの。</p> <p>○当日は、土木用オーガや電動ハツリ機（削岩機）等を使用し、植穴掘りに要する時間や作業効率、実用性等について農家を交え検証した。</p>			
結果と今後	<p>○今回の検証結果をもとに、今後、他の農家も参集して効果的な植穴掘りと苗木の植栽に向けた研修会を開催し、早期の営農再開に向けた支援を行う。</p>			
			土木用オーガ(左)と電動ハツリ機(右)による植穴掘り	



標 題	AI 選果機の精度向上に向けた実証を計画		機関名	八幡浜支局地域農業育成室
年月日	令和4年6月17日	場所	八幡浜支局	
指導対象	西宇和スマート農業推進協議会	連携機関	株式会社 NP システム開発、農林水産研究所	
普及指導内容	<p>○AI 選果機の選果精度の向上を図るため、関係者で今年度の実証内容を検討。</p> <p>○A型選果機（温州みかん）は、昨年度の実証結果で浮皮の選別精度が低かったため、プログラムの改良を行うとともに、刺傷や日焼け果等にも対応した選別項目を追加し、精度の向上を図ることとした。</p> <p>○B型選果機（中晩柑）は、愛媛果試第48号（紅プリンセス）と清見を新たに追加することとし、主要な品種をカバーできるようにプログラムを追加する。</p>			
結果と今後	<p>○八幡浜支局管内において、B型選果機の新規導入を希望する生産者も出てくるなど関心が高まっていることから、今後も関係機関が連携して実証を継続し精度の向上を図る。</p>			
<p>【AI 選果機】 外観品質、腐敗、生キズ、浮皮、 病害虫果等をAI解析によりカメラやセンサーで判別するもの。</p>				
			<p>選果精度の向上を図る AI 選果機</p>	

えひめ農業 NOW




標 題	夏秋きゅうりで JA 間の共同選果を実施		機関名	東予地方局地域農業育成室
年月日	令和4年6月15日	場所	JA えひめ未来新居浜経済センター	
指導対象	JA えひめ未来きゅうり部会(9人)	連携機関	JA えひめ未来、JA 周桑	
普及指導内容	<p>○JA えひめ未来きゅうり部会では、今年度からきゅうりの選果作業を JA 周桑に委託することとし、部会全体会において選果基準や出荷方法の説明があった。</p> <p>○曲がり果の摘果など出荷するきゅうりの秀品率向上技術等を指導した。</p>			
結果と今後	<p>○部会員からは「広域選果に対応し、秀品率の向上を目指す」等の意見が聞かれた。</p> <p>○委託することで、選果作業の省力化と機械化により選果精度の向上と高位平準化が期待される。</p> <p>○今後、個別巡回等によりきゅうりの品質・収量向上に向けた指導を行う。</p>			
				<p>左：選果基準等説明 右：基準の目合わせ</p>




標 題	秋の収穫目指して、神戸小学校で食育活動		機関名	東予地方局地域農業育成室
年月日	令和4年5月31日	場所	西条市神戸地区	
指導対象	西条市青年農業者協議会会員(8人) 神戸小学校3年生(29人)	連携機関	西条市	
普及指導内容	<p>○西条市青年農業者連絡協議会は、神戸小学校3年生を対象にさつまいもの芋づる定植イベントを開催した。</p> <p>○地域農業育成室は、協議会員に対し、小学生への指導内容や作業手順の指導・助言を行った。</p>			
結果と今後	<p>○小学生からは「家が近いので時々見に来て成長を確認したい」「秋の収穫が楽しみ」など、協議会員からは、「子供たちが土に触れ、野菜が成長する過程と収穫の喜びを知ってもらえてうれしい」との声があった。</p> <p>○今後も、小学校と連携しながら、草引き体験やさつまいもの栽培に関する出前授業、秋の収穫祭では焼き芋作り体験の実施を検討する。</p> <p>○収穫したさつまいもは、神戸小学校に提供するほか、「ときめき水都市」で販売しているスイーツ「お芋に恋をして」の原料としても活用される予定。</p>			
				
会員と小学生の対面式		会員が植え方を指導		水都市限定販売「お芋に恋をして」



標 題	Zoom を活用した就農相談会の開催		機関名	東予地方局地域農業育成室
年月日	令和4年6月1日	場所	西城第二庁舎（西条市丹原町）	
指導対象	就農希望者（1人）	連携機関	西条市 えひめ農林漁業振興機構 JA 周桑、JA えひめ未来	
普及指導内容	<p>○西条市農水振興課及び2JA と連携し、毎月第1、3水曜日に周桑地区、20日に西条地区の就農相談会を実施している。</p> <p>○5月にあった兵庫県から西条市で就農したいという相談については、コロナ禍で移動が難しいため、6月1日に「えひめ農林漁業振興機構」と連携してZoomを活用したオンラインの就農相談会を実施した。</p>			
結果と今後	<p>○相談者からは、「遠方から移動せずに、農地や事業の話など、色々な機関の職員と同時に相談ができてよかった」と好評であった。</p> <p>○今後も関係機関と連携を図り、今回のようなZoomを活用した相談会も実施しながら、新規就農者の確保につなげていく。</p>			
				<p>左：普段の就農相談会</p> <p>右：Zoom を活用した就農相談会</p>




標 題	四国中央市の産地統一ブランド茶「結の霧ひめ（ほうじ茶）」のPR販売		機関名	東予地方局地域農業育成室 四国中央農業指導班
年月日	令和4年6月5日	場所	四国中央市新宮町	
指導対象	うま茶振興協議会（4人）	連携機関	四国中央市、JA うま	
普及指導内容	<p>○「第21回霧の森お茶まつり」で、うま茶振興協議会の産地統一ブランド名「結の霧ひめ」のPRと新商品「結の霧ひめ（新宮・富郷ブレンド焙じ茶）」の販売を支援した。</p> <p>○会場では、「結の霧ひめ」の横断幕や幟等を用いて試飲販売を行うとともに、四国中央市の3茶工場（(有)脇製茶場、大西茶園、JA うま）の新茶や茶菓子等自慢の商品を多数揃えて、新商品の販売を後押しした。</p>			
結果と今後	<p>○試飲した消費者からは、「とても香りがいい」「飲みやすい優しい味」と好評で、大勢の消費者で賑わった。</p> <p>○7月に開催の本年度第1回協議会でブランド名や新商品の認知度向上と販売促進に向けた検討を進める予定。</p> <p>○今後も国内外への販路拡大を視野に入れながら、県内最大の茶産地である当地域の魅力向上活動を支援する。</p>			
<p>【うま茶振興協議会】 令和3年2月に四国中央市のお茶に携わる機関で設立。本年5月26日に産地及び商品の統一ブランド名「結の霧ひめ（ゆいのきりひめ）」を発表</p>				
		新しい産地ブランド名でPR		優しい飲み口と香りが好評



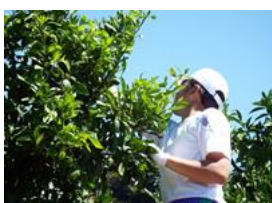
標 題	有害鳥獣捕獲設備を有効に活用しよう！見回り活動・調査を実施		機関名	東予地方局地域農業育成室 四国中央農業指導班
年月日	令和4年6月22日	場所	四国中央市土居町上野地区	
指導対象	土居町上野地区農業者（5人）	連携機関	四国中央市	
普及指導内容	<p>○地区内で最も被害の大きいニホンザルの捕獲効率向上を図るため、集落検討会を開催し、状況確認と箱わなの活用方法を指導した。</p> <p>○すでに設置している中型獣用簡易箱わなは、昨年度の県単独事業「鳥獣害防止施設整備事業」で整備しており、今年度はさらに大型捕獲檻の導入を計画しており、効果的な設置場所を調査、検討するため、センサーカメラを設置した。</p>			
結果と今後	<p>○箱わなは設置場所の変更とエサの交換を実施し、今後、当班が継続して効果を確認するとともに、その結果を分析のうえ、再度指導を行う予定。</p> <p>○大型捕獲檻については、センサーカメラの調査結果を元に、最終的な設置場所を検討することとした。</p> <p>○今後も、地区内の意向を踏まえながら、わなの有効活用に向け指導を継続する。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>地区内の箱わなの見回り（左）と移設作業（右）</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>大型捕獲檻の設置予定箇所調査</p> </div> </div>				




標 題	大西小学校「ひめの凜」田植え体験学習		機関名	今治支局地域農業育成室
年月日	令和4年6月16日	場所	大西小学校（今治市大西町）	
指導対象	大西小学校5年生 約60人	連携機関	JA おちいまばり	
普及指導内容	<p>○地域の食農教育支援の一環で、県オリジナル品種「ひめの凜」の田植え体験学習を行う大西小学校で、田植えの指導のほか、「ひめの凜」の美味しさや夏の暑さに強いなどの特徴を紹介した。</p>			
結果と今後	<p>○児童から「なぜ、田んぼには水が張っているのか」「おいしいお米を作るにはどうしたらよいか」などの質問があり、稲をよく観察し稲の生育に適した水管理や施肥などの世話をすることが大切であることを説明し、お米に関する興味・関心を深めた。</p> <p>○田植は約10aの水田で行い、今後、10月の刈り取り体験、11月の試食会にも体験学習を通じた食農教育を支援していく。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>横一列に並び田植する児童</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>「ひめの凜」について説明</p> </div> </div>				




標 題	令和4年度農作業安全講習会を開催		機関名	今治支局地域農業育成室
年月日	令和4年6月29日	場所	今治市朝倉地区	
指導対象	農事組合法人 かみあさライスセンター（6人）	連携 機関	JA おちいまばり	
普及指導 内容	<p>○農業機械の安全使用と農作業事故防止に向けて意識啓発を図るため、刈払機とコンバインの安全使用講習会を開催した。</p> <p>○担当者が農作業事故防止について説明した後、中四国クボタ今治営業所の整備士を講師に迎え、刈払機の事故を防止する保護カバーの取り付けや作業後のメンテナンス方法などを説明するとともに、コンバインの作業中に靱等が目詰まりしたときの整備の仕方や緊急停止ボタンの操作方法等について解説した。</p>			
結果と今後	<p>○参加者は「刈払機を長持ちさせる方法は、日頃のメンテナンスを行うことが重要」「コンバインの調子が悪いときは必ずエンジンを止め点検したい」との意見があった。</p> <p>○次回は1月に女性農業者を対象にした農作業安全講習会を開催する。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>講師による講義</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>コンバインの整備</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>刈払機の掃除</p> </div> </div>				



標 題	さといもの優良種苗生産を目指したセル苗定植講習会を実施		機関名	今治支局地域農業育成室
年月日	令和4年6月15日	場所	JA おちいまばり経済事業部会議室 現地ほ場（今治市乃万地区）	
指導対象	セル苗生産 希望農家（14人）	連携 機関	JA おちいまばり	
普及指導 内容	<p>○さといもの生産拡大と連動し、優良な種芋の安定供給体制を令和5年度に構築することを目指しており、種芋生産に取り組む意向を持つ生産者に対し、種芋栽培の技術指導を行っている。</p> <p>○講習会では参加者5人を対象に、室内で苗を植える深さやかん水などの留意点について説明を行い、その後、現地ほ場に移動し、セル苗の定植作業の実演を行った。</p> <p>○田植などで参加できなかった生産者には後日、資料配付と個別巡回指導を行った。</p>			
結果と今後	<p>○種芋は、2年かけて増殖する予定で、今回定植した約7aの種芋は、来年3月には80ha分の2次増殖用の種芋が収穫できる見込み。</p> <p>○今後は、種芋栽培技術指標や供給体制の運営ルールづくり、種芋生産を委託する生産者農家選定を行う。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【セル苗による増殖技術】 県農水研が開発した技術で、前年産親芋から切り出した副芽をセルトレイで育苗する。優良系統の選抜が行え、種芋への病害伝播リスクが低い。</p> </div> <div style="width: 30%; text-align: center;">  <p>講習会</p> </div> <div style="width: 30%; text-align: center;">  <p>定植作業の実演</p> </div> </div>				



標 題	女性農業者が儲かる農業に向け実践研修を受講		機関名	今治支局地域農業育成室 しまなみ農業指導班
年月日	令和4年6月6、20日	場所	今治市上浦地区	
指導対象	今治農業女子 (第1回11人、第2回6人)	連携 機関		
普及指導 内容	<p>○女性農業者の農業技術や経営管理能力を高め、女性農業者が主体となって儲かる農業を 実践する人材育成講座を開催。</p> <p>○第1回は、醸造用ブドウ育成園やかんきつ園、イチゴハウスをを巡回し、農業の経営 概要を視察した後、かんきつの夏季栽培管理について指導を行った。</p> <p>○第2回は、「愛媛果試第28号」の園地で、簡易ハウス建設の実技指導を実施。</p>			
結果と今後	<p>○第1回では、年間を通じて労働時間を平準化させながら売上を伸ばす栽培品目の組み 合わせとともに、かんきつの夏秋梢管理技術等を学んだ。</p> <p>○第2回は、簡易ハウス資材の切断や切断面の処理等の実践的な施工方法を学び、参加 者6人約3時間で1.5aの骨組みの建設を終えた。</p> <p>○今後も1か月ごとに会員の園地を相互に巡回し、各自が目指す経営目標を明確化した 上で、管理技術の習得や経営管理能力の向上に向け指導する。</p>			
  				
<p>担当普及員による夏秋梢管理指導 参加者へ作業手順を指導 参加者自らの建設作業</p>				


標 題	岩城中1年生が農業体験		機関名	今治支局地域農業育成室 しまなみ農業指導班
年月日	令和4年6月29日	場所	しまなみ農業指導班岩城駐在所	
指導対象	岩城中学校1年生(9人)	連携 機関	岩城中学校	
普及指導 内容	<p>○岩城島特産のかんきつ類への理解を深めてもらうため、岩城中学1年生を対象に今年 度第1回目の勉強会を開催した。</p> <p>○この勉強会は、毎年6月下旬、収穫期に岩城中学1年生を対象に実施しているもの。 ○中学生は、岩城地域のかんきつ栽培の歴史や、岩城駐在所の設置の背景や役割など について説明後、温州みかんの摘果作業の体験や駐在所内のレモンハウスの見学を行っ た。</p>			
結果と今 後	<p>○生徒たちは熱心に体験学習に取り組むとともに、同班職員の説明に興味深く耳を傾 け、レモンの樹の特徴や、葉や花びらもレモンの香りがすることなどを学んだ。</p> <p>○体験後に学校が実施したアンケートでは、「地域のかんきつ栽培の歴史を知ることが できたり、初めての体験でとても参考になった」と好評であった。</p> <p>○12月に、同生徒たちによる収穫体験を行う予定。</p>			
  				
<p>体験学習中の中学生</p>				


標 題	花木新規栽培者説明会、現地見学会		機関名	今治支局産地戦略推進室
年月日	令和4年6月14、15日	場所	今治市内 JA 支所、直売所等	
指導対象	生産農家（16人）	連携機関	JA おちいまばり	
普及指導内容	<p>○花木類の新規栽培向けの説明会を市町内5か所で開催後、現地見学会を栽培ほ場で実施した。</p> <p>○参加者はJAの広報誌等で募集し、当日は室員が事前に撮影、編集した動画を用いて栽培や出荷調整の方法等について説明を行った。</p> <p>○現地見学会では、近くのほ場を視察し生産者との意見交換を行った。</p>			
結果と今後	<p>○現時点で3人が今年度から新たに花木の栽培を開始する予定。今後は当室が栽培ほ場を確認し、適切な品目や品種の選定等の支援を行う。</p> <p>○現在、市場および花木販売事業者から、出荷時期別に正確な供給量や品質を把握したいとの要望があることから、当室は生産者からの出荷情報を取りまとめ、市場関係者に提供し利用拡大等につなげる。</p>			
<p>ピブルナム・ティナスの調整(動画)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>				
説明会用に制作された動画		現地見学会での説明		現在出荷されている花木類


標 題	しまなみ農産物のブランド化に向けて地元学生、事業者等と連携強化		機関名	今治支局産地戦略推進室
年月日	令和4年6月21、23日	場所	今治明德短期大学 オリーブ、醸造用ぶどう園地	
指導対象	今治明德短期大学（10人）、オリーブ、醸造用ぶどう、花木生産者、ギフト販売事業者	連携機関	今治明德短期大学、FC今治	
普及指導内容	<p>○地方局予算「しまなみ地域の魅力ある農業産地化事業」の一環として、21日に地域食材について学ぶ研修会を開催し、地域食材を活用したレシピづくりに取り組み始めた。</p> <p>○23日には、ギフト販売事業者等と新商品の開発に係る現地検討会を開催した。</p>			
結果と今後	<p>○地元食材の特徴等について学んだ学生は、今後レシピ開発に取り組み、11月には試食会を開催する予定で、FC今治との活動の様子はSNS等でも発信される。</p> <p>○ギフト販売事業者は、オリーブやぶどうの枝葉を利用したリース等の地元花木を活用した新商品の開発に取り組むことになり、クリスマスに向けた地元の花木類とオリーブオイルやワイン等を組み合わせたギフトセットの販売にも取り組む予定。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>				
当室による地元食材に係る講義		レシピづくりについて助言指導		ギフト商品開発に係る協議


標 題	さといも「愛媛農試V2号」の優良種苗確保に向けて		機関名	中予地方局地域農業育成室
年月日	令和4年6月13日	場所	松山市北条地区	
指導対象	さといも種芋生産農家(56人)	連携機関	JAえひめ中央、農林水産研究所	
普及指導内容	<p>○さといも「愛媛農試V2号」の大量増殖法を実証するため、4月5日に30個の親芋の伏せ込みを行い、出芽した副芽を5月12日にセルトレイに挿し込み育苗した386本のセル苗をほ場に定植した。</p> <p>○JAえひめ中央では、一昨年からさといも「愛媛農試V2号(伊予美人)」の産地化に取り組んでおり、産地拡大には優良種芋の確保が重要であることから、当室が主体となり実証を開始している。</p>			
結果と今後	○8月に生育調査を行い、優良種苗確保に向けてかん水、病害虫防除指導を行う。			
				<p>左：定植方法を説明</p> <p>右：ほ場に定植</p>



標 題	七折小梅の生産安定対策で視察調査を実施		機関名	中予地方局地域農業育成室 伊予農業指導班
年月日	令和4年6月24日～25日	場所	福井県美浜町	
指導対象		連携機関	JAえひめ中央	
普及指導内容	<p>○今年の七折小梅収穫量は、35t程度にとどまり、生産量の回復には至らなかった。</p> <p>○特に、後期の生理落果が多く、実がとまらなかったことが大きな要因となっている。</p> <p>○生産安定対策として優良系統への改植更新を進めているが、収穫を得るまでに5年は必要で、それ以外の早急な技術対策が必要となっている。</p> <p>○そこで、先進的な産地における研究成果を参考とするため、福井県への視察調査を実施し、対策を検討した。</p>			
結果と今後	<p>○視察調査から、9月の施肥量や花芽の充実対策が重要であることが解った。</p> <p>○今後は、花芽の充実を図るため、9月施肥量の改善や、液体肥料の効果的な利用方法について、地方局予算事業「七折小梅産地再興支援事業」を活用し検証をすすめる。</p>			
				<p>左：梅産地の状況 (福井県美浜町)</p> <p>右：梅省力樹形</p>

標 題	天敵を利用した自然薯の栽培		機関名	中予地方局地域農業育成室 伊予農業指導班
年月日	令和4年6月24日	場所	砥部町広田地区	
指導対象	自然薯生産農家（12人）	連携機関		
普及指導内容	○自然薯栽培において、ハダニ類の薬剤抵抗性の回避や防除の省力化を目的に、露地栽培ほ場とウイルスフリー苗による増殖ハウスで、天敵であるミヤコカブリダニ（市販天敵製剤）の放飼を行った。			
結果と今後	○天敵利用により、薬剤抵抗性の回避や農薬使用量の低減が見込まれる。 ○今後、天敵の定着状況や被害程度について調査し、防除効果を検討することとしている。			
<p>ミヤコカブリダニを放飼 （左：露地 右：ハウス）</p> 				



標 題	青年農業者対象の農業機械研修会を開催		機関名	中予地方局地域農業育成室 伊予農業指導班
年月日	令和4年6月23日	場所	伊予市上三谷地区	
指導対象	伊予地区管内青年農業者（7人）	連携機関	JA えひめ中央	
普及指導内容	○果樹のせん定や伐採等の作業に携わることが多い青年農業者に対し、農機具の安全使用や点検整備技術を習得するための農業機械研修会を開催した。 ○参加者は持参したチェーンソーを用いて、メンテナンス手順の確認や、各ガイドバーに応じたチェーンの張り具合の確認やソーチェーンの目立て実習を行い、適正な使用管理技術を指導した。 ○また、農作業事故への注意喚起やマダニ感染症、熱中症対策も指導。			
結果と今後	○日頃重視していなかったメンテナンスを徹底するとともに、これからの農繁期にむけて農作業事故をおこさないよう注意喚起を行った。			
 <p>農作業安全講習 替刃・張り具合確認 目立て実習</p>				


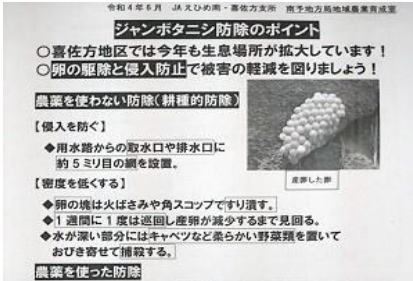
標 題	スクミリンゴガイ実証ほ場でドローンによる防除を実施		機関名	中予地方局地域農業育成室 伊予農業指導班
年月日	令和4年6月19日	場所	伊予市上吾川地区	
指導対象	上吾川の農業を考える連絡協議会 (5人)	連携機関		
普及指導内容	<p>○水稲田植え直後のスクミリンゴガイによる食害対策を検討するため、昨年度から管内集落営農組織において実証試験に取り組んでいる。</p> <p>○今年度は、安価かつ省力的な防除手法を検討しており、スマート農業の1つであるドローン防除は、特に関心が高い。伊予市上吾川の実証ほ場（品種：ひめの凜）25aで、ドローン防除を実施した。</p>			
結果と今後	<p>○ドローン防除は、約3分で実証ほの農薬散布を完了し、省力的に実施できた。</p> <p>○防除効果については、他のほ場と比較しながら散布後の状況を確認し、防除手法の確立に向けた一助にするとともに、スマート農業の推進にもつなげる。</p>			
				<p>ドローン防除 機体には約4kg 搭載</p>



標 題	ピーマン収穫作業の労力補完の推進		機関名	中予地方局地域農業育成室 久万高原農業指導班
年月日	令和4年6月6日～10日	場所	久万高原町内各地	
指導対象	ピーマン生産農家（118人）	連携機関	JA 松山市	
普及指導内容	<p>○久万高原ピーマン部会の各支部出荷会議で、ピーマン収穫作業の労働補完を推進した。</p> <p>○ピーマン生産者の高齢化が進む中、規模拡大や体調不良等による収穫や栽培の中断を防ぐため、アルバイトマッチングを活用し労働補完するもので、部会組織活動に位置付けられたもの。</p>			
結果と今後	<p>○出席者は、アルバイトマッチングの利用方法や留意点について質問するとともに、必要に応じて活用することとした。</p> <p>○栽培終了後には、労働補完の利用実績や課題を整理し、労働補完体制の構築を図ることとしている。</p>			
				<p>労力補完体制の説明</p>



標 題	猛暑期における熱中症及び農作業安全の啓発		機関名	中予地方局地域農業育成室 久万高原農業指導班
年月日	令和4年6月25日～7月4日	場所	久万高原町内各地	
指導対象	水稲生産農家（約130人）	連携機関	JA松山市	
普及指導内容	<p>○町内36カ所で行っている水稲後期管理講習会に併せて、農作業安全並びに熱中症対策について啓発活動を行った。</p> <p>○農業者の高齢化にともない発生が増加する農作業死亡事故について、発生要因と対策を、熱中症については、今後の猛暑期に備えた対策を指導した。</p>			
結果と今後	<p>○梅雨明けが例年に比べて2週間以上も早く（6月28日）、久万高原町でも日中の最高気温が31度以上に至っていることから熱中症対策について熱心に耳を傾けていた。</p> <p>○現地指導の際には全職員が注意喚起を図ることとしている。</p>			
				<p>左：農作業安全講習</p> <p>右：熱心に聞き入る農業者</p>


標 題	雑穀の植え付け始まる		機関名	中予地方局地域農業育成室 久万高原農業指導班
年月日	令和4年6月1日、8日	場所	久万高原町渋草、明神	
指導対象	雑穀生産農家（2人）	連携機関		
普及指導内容	<p>○高齢者の生きがいがづくりや耕作放棄地対策、地域食材の伝承にもつながることから、地方局予算事業「久万高原地域食材伝承事業」を実施し、雑穀の生産振興を図ることとしている。</p> <p>○2か所の雑穀生産農家ほ場にて、5月12日から育苗していた地とうきび・たかきび・こきびの3種類の雑穀の苗を植え付け、現地展示ほを設置した。</p>			
結果と今後	<p>○新規栽培者の発掘・育成に努めるとともに、現地展示ほを公開し、雑穀を幅広く紹介するほか、雑穀を利用した調理動画による記録とネット配信、雑穀郷土料理講座の開催を計画。</p> <p>○雑穀（たかきび）を原料とする代替肉の開発を計画している。</p> <p>○久万高原町、JA松山市とも連携し、雑穀を利用して久万高原地域の活性化を図っていく。</p>			
				<p>左：雑穀植付け</p> <p>右：定植後かん水する農業者</p>


標 題	パクチーの夏季栽培開始		機関名	中予地方局産地戦略推進室
年月日	令和4年6月10日、6月13日	場所	東温市山之内、砥部町広田	
指導対象	パクチー新規生産者 2人	連携機関	JA えひめ中央	
普及指導内容	<p>○栽培が困難な夏季出荷を安定させ、中予管内のパクチー周年安定生産に繋げるため、6月上旬から東温市山之内、砥部町広田の新規生産者2人のほ場(各2a)において、パクチーの播種指導を実施。</p> <p>○パクチーの播種は、畝面を均一にして深播きしないこと、発芽までの土壌水分を保つことが重要で、丁寧に作業を行うように指導。</p>			
結果と今後	<p>○生産者は30cm間隔に開けられた植穴の土をならし、一穴あたり3粒の種子を丁寧に播種していた。</p> <p>○7月下旬には、草丈40cm程度に生長し、収穫期を迎えることから、当室では引き続き、生育状況を観察しながら施肥や防除の指導を続ける。</p>			
				<p>左：パクチー播種状況</p> <p>右：播種後のパクチーほ場</p>



標 題	スクミリンゴガイの防除対策を呼びかけ		機関名	南予地方局地域農業育成室	
年月日	令和4年6月17日～30日	場所	宇和島市吉田町		
指導対象	水稻栽培農家(80戸)	連携機関	JA えひめ南 病虫害防除所		
普及指導内容	<p>○スクミリンゴガイによる稲の食害や産卵が見られる中、JAと連携し、水稻栽培農家に防除資料を提供して注意を呼びかけた。</p> <p>○同地区の水田で、田植えが終了した頃から「稲の葉が食べられた」「畦ぎわの産卵が多い」といった相談が増えてきたことを受け、当室では状況を確認するとともに、病虫害防除所と連携し、スクミリンゴガイの生態や特徴、防除のポイントをまとめた資料を作成。JAを通じ地区の栽培農家全戸にFAXで送付するとともに、個別指導を行った。</p>				
結果と今後	<p>○資料を受け取った水稻栽培農家は、スクミリンゴガイの危険性と正しい駆除の方法が理解できたと好評。</p> <p>○引き続きJAと連携し、侵入防止策や貝の捕殺、農薬による駆除、収穫後の耕起作業等を指導し、被害軽減に取り組む。</p>				
					<p>左：産卵跡と被害水田</p> <p>右：対策資料を配布(抜粋)</p>



標 題	新規就農者夫婦が家族経営協定を締結		機関名	南予地方局地域農業育成室	
年月日	令和4年6月9日	場所	宇和島市役所		
指導対象	新規就農者（2人）	連携機関	宇和島市農業支援センター 宇和島市農業委員会		
普及指導内容	<p>○農業者が家族それぞれの意思を尊重し経営や暮らしの目標について話し合い、取り決めを行う家族経営協定を推進しており、このほど、当室が就農計画や協定書作成等を支援してきた宇和島市の新規就農者夫婦が新たに協定を締結。</p> <p>○市役所で行われた締結式では、関係者の立会のもと協定書への押印が行われ、夫妻から「お互い協力し合って農業にチャレンジしていきたい。いろいろな人とのネットワークも作っていきたい」との話があった。</p>				
結果と今後	<p>○今回の締結により、宇和島市の締結農家数は86戸となった。</p> <p>○引き続き宇和島市農業支援センター、同農業委員会と連携し、新規の家族経営協定締結の推進、協定内容の見直しの必要な農家に対し、再締結等の支援を行う。</p>				
				<p>左：家族経営協定調印式 右：協定書作成支援資料</p>	



標 題	女性農業委員等が農薬の適正使用について学ぶ		機関名	南予地方局地域農業育成室 〃 産地戦略推進室	
年月日	令和4年6月1日	場所	宇和島市役所		
指導対象	女性農業委員（2人）及び女性農地利用最適化推進委員（2人）	連携機関	宇和島市農業委員会		
普及指導内容	<p>○女性の農業委員および農地利用最適化推進委員のスキルアップを図るため、宇和島市農業委員会と連携し研修会を開催。</p> <p>○農薬の適正な使用方法等について、産地戦略推進室の野菜担当から、野菜を中心とした農薬使用における注意点や病虫害防除のポイントなどについて講義。</p>				
結果と今後	<p>○参加者からは、「農薬の安全な使用方法、効果的な防除方法などよく理解できた」との感想があり、野菜栽培に関する知識、技術の向上につながった。</p> <p>○女性農業委員等による定期的な学習活動の継続に向け、活動を支援する。</p>				
				<p>左：農薬使用について講義 右：農薬適正使用のパンフレット</p>	



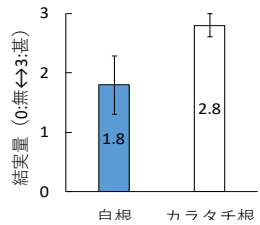
標 題	地方局予算事業「儲かる農業人材育成事業」を活用し新規就農者の定着を支援		機関名	南予地方局地域農業育成室
年月日	令和4年6月9日～14日	場所	宇和島市内	
指導対象	新規就農者(重点指導対象)(10人)	連携機関	JA えひめ南、宇和島市	
普及指導内容	<p>○オール南予で農業の担い手を確保・育成する本事業では、新規就農者へのフォローアップとして、担当普及指導員が重点指導農家へのきめ細かな相談に対応している。</p> <p>○今月訪問した農家からは、「新たに倉庫を建設したいが、活用出来る資金等はあるか」等の相談があったほか、昨年度の実績が思わしくなかった農家に対しては一緒に園地に出向き、栽培上の課題を抽出。樹勢の低下が確認されたため、適正な施肥管理と併せ、摘果や防除など今後の作業の優先順位等について指導した。</p>			
結果と今後	○引き続き関係機関と連携し、必要に応じて市町や JA などチームによる巡回も行うこととしている。			
				現地で改善方法を指導



標 題	青年農業者の研修活動を支援		機関名	南予地方局地域農業育成室
年月日	令和4年6月28日	場所	みかん研究所 (株) 地域法人無茶々園	
指導対象	吉田町農業後継者協議会員 (23人)	連携機関	宇和島市、みかん研究所	
普及指導内容	<p>○吉田町農業後継者協議会員の柑橘栽培技術向上と販売手法習得のため、みかん研究所と株式会社無茶々園への視察研修活動を支援した。</p> <p>○みかん研究所では、当地域の銘柄品種「南柑 20号」や復興のシンボルとして導入が進む「紅プリンセス」など、主力品種や新品種5品種の摘果方法について研修。</p> <p>○(株) 地域法人無茶々園では、有機栽培で全国的に知名度の高い同法人の集荷体制や産直販売の体制について説明を受けた。</p>			
結果と今後	○参加した会員からは「品種ごとの摘果の違いを理解できた」「これからは新しい販売方法に目を向けていきたい」等の意見があり、会員の技術と意欲の向上に繋がった。			
				摘果及び販売方法について研修


標 題	松野町で農作業安全講習および草刈りロボットの実演会を開催		機関名	南予地方局地域農業育成室 鬼北農業指導班
年月日	令和4年6月21日	場所	松野町富岡公民館	
指導対象	鬼北地域農業者（29人）	連携機関	松野町、農機具メーカー	
普及指導内容	<p>○農作業安全講習では、草刈り作業時の安全確認と作業後のメンテナンス、農作業時のヒヤリハット対策について説明後、農作業時の労働軽減として空調服やアシストスーツのデモンストレーションを実施。</p> <p>○ロボット草刈り機の実演では、傾斜角度45度に対応するラジコン草刈り機等5機種や夜間に作動させると鳥獣害対策にもなる全自動型の草刈りロボット“ロボモア”の自動走行を実演。</p> <p>○農業者や関係者からも質問が多く出され、関心の高さがうかがえた。</p>			
結果と今後	○引き続き適切な農作業安全や省力化に向けた農業機械等の導入等を推進し、安全な農作業環境づくりに取り組む。			
				<p>左：アシストスーツを試着する農業者 右：草刈りロボットで労働軽減</p>


標 題	夏秋きゅうりの品種選定試験を実施		機関名	南予地方局地域農業育成室 鬼北農業指導班
年月日	令和4年6月28日	場所	鬼北町三島地区	
指導対象	きゅうり品種調査協力農家及び栽培農家（29人）	連携機関	JA えひめ南鬼北支所 種苗メーカー	
普及指導内容	<p>○夏秋きゅうり栽培農家2戸の協力を得て、5月上～下旬に定植したきゅうりの品種比較調査(各3品種・5a)を実施。</p> <p>○生産者の高齢化や規模拡大に対応した省力的で収量性の高い品種を選定し、産地の活性化につなげることが目的。</p> <p>○調査ほ場では6月上旬から収穫が始まり、7月には出荷が本格化。8月下旬まで収穫を継続する予定。</p> <p>○28日にはJA、種苗会社と現地調査を行い、側枝の出方など整枝管理の作業性等について意見交換を行った。</p>			
結果と今後	<p>○調査データに加え、草勢や着果方法、管理作業のしやすさについて、農家視点での品種の特徴について把握した結果は、今後の栽培管理に活用する。</p> <p>○管内では6月に若手農家2戸がそれぞれ約10aの夏秋きゅうりを新たに栽培するなど産地の若返りに期待が高まっており、引き続き技術・経営支援を行う。</p>			
				<p>左：調査協力農家と現地で意見交換 右：夏秋きゅうりの品種調査ほ場</p>



標 題	南宇和高校生に「河内晩柑」のせん定を指導		機関名	南予地方局地域農業育成室 愛南農業指導班
年月日	令和4年6月14、16日	場所	愛南町平山地区	
指導対象	南宇和高等学校2、3年生(10人)	連携機関	南宇和高等学校	
普及指導内容	<p>○南宇和高等学校からの依頼を受け、同校平山農場で「河内晩柑」のせん定講習会を実施した。</p> <p>○当班が主枝や垂主枝など枝の種類について説明を行った後、生徒がこれら主要な枝と競合する枝のせん定を実施。</p> <p>○室内研修では、当班が「河内晩柑」の密植園対策として取り組んでいる間伐や縮伐等のせん定動画を放映し、密植園対策について指導した。</p>			
結果と今後	<p>○生徒だけでなく、教員からも除去枝の見極め方を質問されるなど、活発な講習会となった。</p> <p>○次回は10月に、樹の上部に多く発生する夏秋梢の処理方法について指導する予定。</p>			
				<p>左：室内研修 右：ほ場でのせん定体験</p>


標 題	「河内晩柑」の自根発生による影響を農家説明		機関名	南予地方局地域農業育成室 愛南農業指導班
年月日	令和4年6月23日	場所	JA えひめ南マルエムフルーツアイランド(愛南町平山)	
指導対象	JA えひめ南マルエムフルーツアイランド生産者	連携機関	JA えひめ南	
普及指導内容	<p>○「河内晩柑」の自根の発生が、樹高や果実品質等に及ぼす影響と対策について農家への説明会を開催した。</p> <p>○当班が昨年度実施した現地調査結果をもとに、以下の対策について説明した。</p> <p>(1) 愛南町における自根の発生状況</p> <p>(2) 自根の発生に起因する高樹高化や糖度低下、収量減少</p> <p>(3) 自根を発生させない苗木の植付方法や自根への傷入れによる樹勢調節</p>			
結果と今後	<p>○会員からは、「自根への傷入れは今からでも間に合うのか」等の質問が出されるなど、自根の発生を問題点として捉えてもらえた。</p> <p>○次回は、実証ほで継続調査している結実率や夏秋梢の発生との関係、自根発生の改善状況について取りまとめ、報告する予定。</p>			
				
スライドで自根を説明		熱心に聞き入る参加者		自根の有無と結実量の関係

標 題	新規就農者がブルーベリー栽培に意欲		機関名	南予地方局地域農業育成室 愛南農業指導班
年月日	令和4年6月10日	場所	宇和島市柿原地区 鬼北町下大野地区	
指導対象	柑橘生産農家	連携機関	日本政策金融公庫、愛南町	
普及指導内容	<p>○ブルーベリー栽培に関心を持つ新規就農者の意向を受け、関係機関と連携し、宇和島市、鬼北町の園地視察を支援。</p> <p>○視察先では、防除や肥培管理方法、水田転換園で栽培する際の高畝や明渠の設置などの排水対策等について園主から説明を受けた。</p>			
結果と今後	<p>○視察を終えた新規就農者からは、「栽培者の生の声を聴くことができ、ブルーベリー栽培のイメージがより明確になった」との話があり、後日、ブルーベリー栽培に取り組みたい旨の意向が示された。</p> <p>○引き続き愛南町役場と連携し、ブルーベリーを含めた収支計画の作成と栽培面の支援を行う。</p>			
 		<p>左：園地を視察する生産者 右：栽培されているブルーベリー</p>		



標 題	オンライン柑橘栽培講演会を開催		機関名	南予地方局地域農業育成室 愛南農業指導班
年月日	令和4年6月20日	場所	愛南町県庁舎	
指導対象	愛南地区青年農業者協議会（8人）	連携機関		
普及指導内容	<p>○愛南地区青年農業者協議会は、不知火、紅甘夏等の高糖度栽培で有名な鹿児島県の農業者を講師とした柑橘栽培講演会（Zoom）を熊本県の青年農業者等（8人）と共催し、当班は先方との日程や進行方針の調整などを支援した。</p> <p>○当日は、会員を含む16人が講師とリモートで対面し、着果数増加や食味向上の技術、植物生理に基づく肥培管理について指導を受けた。</p>			
結果と今後	<p>○質疑応答では、夏芽の充実方法や講師が推奨する資材の使用方法・効果について、活発な意見交換が行われた。</p> <p>○同協議会では、今回の講習を受けて、今年10月に鹿児島県の講師のもとを訪問し、樹形や果実の着生、品質等を確認して理解を深めるとともに、プロジェクト活動で取り組んでいる甘夏の果皮傷害対策について研修することになっている。</p>			
		<p>熱心に聴講する会員ら</p>		


標 題	高校生に河内晩柑の現状について講義		機関名	南予地方局産地戦略推進室 愛南農業指導班
年月日	令和4年6月10日	場所	南宇和高校	
指導対象	南宇和高校生（21人）	連携機関	愛南町農業支援センター	
普及指導内容	<p>○県立南宇和高校は「愛南町未来づくりプロジェクト」として、地域の課題解決に向け生徒自らが探求を行う取組を行っており、農林業分野を希望する生徒に対し、当室が、地元特産品「河内晩柑」を題材とした総合的な講義を行った。</p> <p>○愛南町の栽培の現状と今後の展望、品種としての特徴、東京や大阪など都会の消費者の反応を説明。生徒からは、消費者の感覚の違いや今後の生産予測等の質問が寄せられた。</p>			
結果と今後	<p>○今後、受講した生徒は「生産」「加工」「PR」の3グループに分かれて、課題に対する解決策やアイデアを探求していくこととしており、講義（約15回）を通して地元産品への愛着を深め、農業への興味喚起を促していく。</p>			
				河内晩柑の現状や取組を講義


標 題	アボカド新規栽培者へ巡回指導		機関名	南予地方局産地戦略推進室
年月日	令和4年6月14日	場所	愛南町内	
指導対象	アボカド栽培農家（4人）	連携機関	NPO法人ハート in ハートなんぐん市場、愛南町	
普及指導内容	<p>○愛南町では、アボカドの産地化に向け、NPO法人、町、県が連携して取り組んでおり、新規に取り組む栽培者4人（4a）を対象に、定植後のかん水及び肥培管理、伸長する枝の誘引作業等について指導を行った。</p> <p>○同法人園地（1.4ha）の成木を見本として、樹形の仕立て方や施肥のタイミングについて説明を行った他、獣害対策についても指導。シカの食害が多発する園地は、住宅地が近く銃等による狩猟が困難なことからワイヤーメッシュによる物理的対策を提案した。</p>			
結果と今後	<p>○今後も引き続き同法人及び町と連携し、成木化促進や着果管理など、新規栽培者への定期的な個別指導を行うこととしている。</p>			
				<p>左：成長度確認 右：獣害対策指導</p>



標 題	道の駅「みま」戦略会議の開催		機関名	南予地方局産地戦略推進室
年月日	令和4年6月2日	場所	宇和島市三間地区	
指導対象	道の駅みま関係者等（3人）	連携機関	道の駅みま	
普及指導内容	<p>○高齢化による出荷者減少やコロナ禍による来場者減少により販売額が伸び悩んでいる「道の駅みま」の活性化を図ろうと、6月2日、同道の駅関係者と出荷者代表を対象に戦略会議を開催。</p> <p>○同会議は、直売所の販売額向上や出荷者の所得増に向けた戦略立案や役割分担などについて協議する場を新たに設けたもので、新たな品目導入や農産物 PR などを積極的に行い、直売所の魅力増進を図ることを申し合わせた。</p>			
結果と今後	<p>○新規品目として、既に数品種のミニトマトの試験栽培に取り組んでいるほか、今後、リーフレタスやさといも、いちごなど販売品目の多様化を目指していく。</p> <p>○当室は、道の駅「みま」と出荷者が一体となった取組を地域づくりのモデルと捉えており、新規品目導入をスムーズに進めるため、品目ごとの講習会を順次開催する予定である。</p>			
			<p>アイデアを出し合うメンバー</p>	



標 題	松野町でうめの収穫体験研修会を開催		機関名	南予地方局産地戦略推進室
年月日	令和4年6月21日	場所	松野町農林公社園地、加工施設	
指導対象	北宇和高等学校生産食品科（6人）	連携機関	北宇和高等学校 松野町農林公社	
普及指導内容	<p>○地元高校生を対象に、特産品であるうめへの理解と農業への興味を深めてもらう研修会を企画、(株)松野町農林公社と連携して開催した。</p> <p>○園地での収穫、選果場での選別体験の後、一般に流通している青梅と異なる完熟梅の特性に関して講義を行った。</p>			
結果と今後	<p>○学生は、収穫したうめを使用したジャム等の加工品製造・販売を行うほか、商品パッケージのブラッシュアップなどを通じて売れる商品づくりを実践的に行う予定。</p> <p>○松野町のうめの魅力を伝える商品としての継続的な販売に繋げるため、地元加工事業者へのレシピ提供・製造による本格的な商品化を目指していく。</p>			
				
<p>収穫や選別を体験</p>			<p>完熟梅について講義</p>	



標 題	冷蔵貯蔵の「清見」販路拡大に向け商品 PR		機関名	八幡浜支局地域農業育成室
年月日	令和4年6月10日～	場所	大阪市・名古屋市	
指導対象	三崎柑橘共同選果部会役員	連携機関	愛媛県大阪事務所	
普及指導内容	<p>○初夏に冷蔵貯蔵した「清見」の販路拡大を図るため、大阪事務所と連携し、関西及び名古屋圏での商談を支援している。</p> <p>○今年度は、カタログや EC サイトなどでの販売に焦点を絞り、商談先6社に商品サンプルと併せて当室が制作した産地の取組を紹介した動画を送付して、PR に取り組んだ。</p>			
結果と今後	<p>○商談先はいずれも興味を示し、特にその内の2社は、「9月頃に産地視察を行いたい」「通常の出荷時期である3～4月にも取り扱った上で、夏季の商材としてネットショッピングで販売したい」と高評価。</p> <p>○今後は、Web での打合せや視察対応の準備を行うなど、成約に向けた活動を実施する。</p>			
				<p>左：産地の取組を動画で紹介</p> <p>右：初夏の「清見」のおいしさを PR</p>



標 題	新規に GLOBAL G. A. P. に挑戦する生産者を現地指導		機関名	八幡浜支局地域農業育成室 八幡浜支局産地戦略推進室
年月日	令和4年6月14日	場所	伊方町瀬戸	
指導対象	GAP 取得志向農家	連携機関	—	
普及指導内容	<p>○「GLOBAL G. A. P. に取り組みたい」と要望のあったかんきつ農家に対し、継続した支援を実施。</p> <p>○今回は、GLOBAL G. A. P. で求められる農薬管理・倉庫整理について、当室が作成した資料で説明し、GLOBAL G. A. P. 認証品と非認証品に用いる農薬を区別して保管する必要があることを指導した。</p>			
結果と今後	<p>○生産者は、GAP の実践は細かな記録や管理など煩雑であるが、適正に栽培管理を行っていることを証明する重要な取組であるとの気付きを得た。</p> <p>○今後も現地において、GLOBAL G. A. P. 認証を満たす倉庫管理を生産者自身自発的に考えて実施するよう指導を行う。</p>			
<p>【GLOBAL G. A. P.】 国際的に認められた農業における持続可能性を確保するための生産工程管理の取組。G. A. P. とは Good Agricultural Practice の略。</p>			 <p>生産者の倉庫で 現地指導</p>	


標 題	女性起業家に食品営業許可制度と衛生管理を周知		機関名	八幡浜支局地域農業育成室
年月日	令和4年6月22日	場所	八幡浜市役所	
指導対象	八幡浜市生活研究協議会・みかんの花工房会員（14人）	連携機関	八幡浜保健所 八幡浜市	
普及指導内容	<p>○食品営業許可制度の見直しと営業届出制度の創設に伴い、食品事業者は令和3年6月から記録等が必要となったことから、営業許可業種区分とその衛生管理について理解を深めるため、研修会を開催。</p> <p>○研修会では、「HACCPの考えを取り入れた衛生管理のための手引書」に準じた衛生管理計画や実施記録の記入方法を指導するとともに、同一施設で複数の許可取得が可能になったこと（条件付き）を説明。</p> <p>○また、食品表示方法について、現在使用中の食品表示ラベルを確認し、正しい表記を指導した。</p>			
結果と今後	<p>○参加者は制度改正について理解を深めており、今後は衛生管理計画の作成や記録・管理の実践を支援。</p> <p>○同一施設で複数の許可取得に意欲を示す女性起業家に対しては、活動の多角化のため新たな営業許可申請を指導。</p>			
<p style="text-align: center;">【HACCP】 原材料の受入れから製品の出荷まで全ての工程で、発生しうる危害（HA）をあらかじめ予測し、その発生を予防するために重要管理点（CCP）を特定し、常時又は相当頻度で監視・記録する衛生管理方法</p>			 <p style="text-align: center;">食品表示等を指導</p>	



標 題	夏越しきゅうり出荷量増産に向け現地講習会を開催		機関名	八幡浜支局地域農業育成室 大洲農業指導班
年月日	令和4年6月7～8日	場所	大洲市・内子町各地	
指導対象	JAきゅうり部会員（44人）	連携機関	JA愛媛たいき、種苗メーカー	
普及指導内容	<p>○夏秋きゅうりの最盛期を迎えるにあたり、普及ビジョン目標に掲げる「夏越し（8月期以降）きゅうり出荷量増」につながる収穫延伸技術等について指導。</p> <p>○本年から新たにきゅうり栽培に取り組む葉タバコ廃作農家（6戸）に対しては、摘心や摘葉、施肥、防除等の基本的な栽培技術を重点的にアドバイス。</p>			
結果と今後	<p>○農家は、所得アップにつなげようと熱心に耳を傾け、夏越し出荷への意欲を高めていた。</p> <p>○新規栽培者に対しては、JAと連携し定期的な個別巡回指導を行い、早期技術習得を支援する。</p>			
			 <p>左：熱心に聞き入る生産者 右：葉たばこから転換したきゅうり</p>	



標 題	新規就農者へのフォローアップで定着支援		機関名	八幡浜支局地域農業育成室 大洲農業指導班
年月日	令和4年6月1日、3日、28日	場所	大洲市・内子町各地	
指導対象	新規就農者等（14人）	連携機関	大洲市・内子町・JA愛媛たいき	
普及指導内容	<p>○関係機関で構成する就農サポートチームで、今年度最初の新規就農者等に対する巡回指導を実施。</p> <p>○指導班では、特に「次世代人材投資資金（経営開始型）」受給者の就農計画達成に向け、不安を伴っている栽培技術面を重点的にフォローアップ。</p> <p>○なお、本巡回は「南予儲かる農業人材育成事業」（局予算）の一環として実施。</p>			
結果と今後	<p>○一部で栽培計画の変更や生育不良があったものの、就農計画の達成は十分見込める。</p> <p>○今後もチームで定期的な個別巡回を実施し、普及ビジョンに掲げる目標「定着率100%」の達成を目指す。</p>			
				<p>左：ぶどうの摘粒を指導</p> <p>右：さつまいもの生育不良を改善</p>



標 題	地元農高生の水稻栽培への理解を深める		機関名	八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班
年月日	令和4年6月15日、28日	場所	宇和高校農場	
指導対象	宇和高校生徒（11人）	連携機関	西予市水稻防除協議会	
普及指導内容	<p>○宇和高校に設置している水稻肥料試験ほ場にて、生徒らに向けて生育調査方法の研修会を開催。</p> <p>○将来、地元の高校生が地域農業の担い手として活躍してもらえるよう、普及指導員が直接、実践的な技術などを指導しているもので、売れる米づくりと担い手の確保・育成を目的に実施している。</p> <p>○水稻の生育調査を指導した後、生徒には、草丈、茎数、葉色の3項目の調査を実際に体験してもらい、施肥方法の違う水稻の生育状況を数値で客観的に把握させることで、水稻栽培への理解を深めた。</p>			
結果と今後	<p>○次回は、7月中旬に生育調査及び穂肥診断方法を指導予定。</p> <p>○当班ではこうした活動を通じて、地域の主要品目である「宇和米」に対する理解を深めるだけでなく、地域農業の現状や農業の魅力を生徒に伝え、将来、地域を担う人材の育成に努める。</p>			
				<p>左：研修を受ける高校生</p> <p>右：草丈と茎数を調査</p>



標 題	スマートな水管理！自動給水装置を設置		機関名	八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班
年月日	令和4年6月27日	場所	西予市宇和町石城地区	
指導対象	水稲生産農家（2人）	連携機関	農林水産研究所	
普及指導内容	<p>○農林水産研究所と連携したスマート農業の実証試験の一環として、西予市宇和町で自動給水装置実証ほを2か所設置した。</p> <p>○農家にはスマートフォンの専用アプリから、現在の水位の確認や給水装置の開閉方法を指導した。</p>			
結果と今後	<p>○実証ほの水口は、板で水位を調整するものであったが、板に穴を開けパイプを通すことで、問題なく装置を設置できたことから、多様な水口に対応できると考えられた。</p> <p>○今後は2種類の自動給水装置を比較しながら、水管理に要する時間がどの程度短縮できるか調査し、普及の可能性を検討していく。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>【自動給水装置】 水田の水口に設置し、設定した水位に合わせて自動で水口を開閉するもの。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>自動給水装置</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>受信機の取扱いを説明</p> </div> </div>				


標 題	にんにく掘り取り機導入に向けた実演		機関名	八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班
年月日	令和4年6月24日	場所	西予市野村町大野ヶ原	
指導対象	大野ヶ原にんにく組員（7人）	連携機関	（株）中四国クボタ 西予市	
普及指導内容	<p>○大野ヶ原地域における寒地系にんにくの産地化を目指し、課題である労働負担の軽減に向け機械化を図ることとし、収穫用掘り取り機の実演を行い、適応性、作業性（人員・時間）、能力等を検証した。</p> <p>○また、生産者から植え付け作業も省力化を図りたいとの声を受け、植え付けと多くの作業時間を要する種子割り作業について、機械の導入を提案した。</p>			
結果と今後	<p>○実演の結果、掘り取りの精度が高いこと、作業人員・時間の削減が見込まれることを確認し、今後、導入方法等について検討する。</p> <p>○種子割り機については、8月に機械の実演による研修会を開催し、労働力削減効果を検証する。</p> <p>○これらの機械の実演結果を踏まえ、産地化に向けた年度別計画の作成について指導するとともに、導入の際の補助事業や制度資金の活用について支援する。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;"> <p>【寒地系にんにく】 品種：ホワイト6片（青森県が主産地、国内にんにく産の約70%） 特性：1粒が大きく、独特の甘み、辛み、香りの3拍子揃った国産にんにく最高峰の品種</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>にんにく掘り取り機の実演</p> </div> </div>				



標 題	大野ヶ原にんにく収穫体験交流会の開催		機関名	八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班
年月日	令和4年6月13日	場所	大野ヶ原小学校及び生産者ほ場	
指導対象	野村高校生徒（13人）、大野ヶ原にんにく組合員（3人）	連携機関	（株）祐 西予市	
普及指導内容	<p>○大野ヶ原にんにくの産地化推進の一環として、地元高校生の理解を深めるため、生産者とともに収穫調製作業の体験交流会を開催した。</p> <p>○本交流会は、「えひめ未来チャレンジ支援事業」を活用し、将来の担い手や情報発信者として期待される生徒に、にんにく栽培の体験機会を設けるとともに、加工品開発・販路開拓により商品のPR活動を行っていくため実施。</p>			
結果と今後	<p>○生徒の多くが「にんにく栽培についてほとんど知らない」と答えていたが、交流会後のアンケート調査では、全体の約80%を超える生徒から「理解を深める良い機会になった」との回答があった。</p> <p>○また、意見交換では、にんにくを用いた新しい加工品案が数多く提案され、10月に開催予定の第2回交流会では、にんにくの植え付け体験のほか、新たな加工品開発について検討を行う計画である。</p>			
  				
大野ヶ原産にんにく			生徒による収穫調製作業体験	



標 題	ぶどうの摘粒指導と併せてアシストスーツを紹介		機関名	八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班
年月日	令和4年6月7日	場所	西予市宇和町新城地区及び皆田地区	
指導対象	東宇和ぶどう生産部会員（8人） 及び皆田営農部会員（8人）	連携機関	JA ひがしうわ	
普及指導内容	<p>○ぶどうの高品質果実生産を円滑にするため摘粒講習会を実施し、目標とする房形や残す果粒数などのポイントとなる摘粒方法の実技指導を行った。</p> <p>○また、作業の軽労働力化を図るために、ぶどう用アシストスーツの紹介を行い、生産者がスーツの装着体験を行った。</p>			
結果と今後	<p>○今後の果実肥大促進と収穫期の裂果防止につながる摘粒の重要性について、生産者に再確認させることができた。</p> <p>○アシストスーツ体験生産者からは、「装着しやすく、肩が楽になる」など効果を実感する意見があった一方、「動きづらい」「少し重いため長時間の装着では疲れるのでは」などの問題点が指摘された。</p> <p>○当班ではアシストスーツ普及のため、生産者へ1週間程度貸出し、長時間使用時の感想の聞き取りを行うなど、実用性への検討を行っていく。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>【ぶどう用アシストスーツ】 摘粒など肩より上に腕を上げて行う作業の際に、腕や肩の負担を軽減するアシストスーツ。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>摘粒の方法を指導</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>アシストスーツを装着して作業を実施</p> </div> </div>				

標 題	加工用青ねぎの安定生産に向けた調査と新たな検証		機関名	八幡浜支局産地戦略推進室
年月日	令和4年6月21日	場所	西予市野村町	
指導対象	加工用青ねぎ生産者（2人）	連携機関	（株）百姓百品	
普及指導内容	<p>○冬季安定育苗に向けた育苗培土等の改良試験について、収量調査を実施。</p> <p>○今年度より地方局予算事業「南予儲かる農業人材育成事業」の中で技術確立を進めることとしており、各種実証を予定している。</p>			
結果と今後	<p>○収量調査では、ゼオライト含有培土で育苗した区で収量が約10%向上するなど、一部の試験区で令和2年度試験の再現性を確認した。今後は、これまでの結果及び培土変更に係るコストも併せて、生産者と協議しながら培土を切り替えていく。</p> <p>○今回新たに、土壌診断に基づく土壌改良や夏季高温時のかん水による収量改善を検討する実証ほを設置した。今後は排水性改善のための緑肥栽培試験等を予定しており、引き続き技術確立を図っていく。</p>			
				<p>実証ほの調査(左)及び定植(右)</p>


標 題	フィンガーライムの加工品開発が一步前進		機関名	八幡浜支局産地戦略推進室
年月日	令和4年6月1日、6月13日	場所	松山市	
指導対象	フィンガーライム生産農家（2人）	連携機関	産業技術研究所	
普及指導内容	<p>○フィンガーライムの生産量の増加が見込まれることから、販売の多角化を見据え、産業技術研究所と連携して加工品の開発を進めている。</p> <p>○加熱による品質の変化や技術的な問題点について協議し、持ち込んだ果実で果肉を詰めた瓶詰の加工品を試作し、生果と近い品質を保つことができるか調査することとした。</p>			
結果と今後	<p>○果実が小さいために調整作業に時間がかかることや、歩留まりが悪いため大量の果実が必要となることが判明した。</p> <p>○今後は、適した瓶の選定や効率の良い加工方法を検討するほか、瓶詰以外の加工品開発についても模索することとなった。</p>			
				<p>左：加工方法について協議 右：完成した試作品（瓶詰）</p>

標 題	継続的な食農教育の実践により「第6回食育活動表彰」消費安全局長賞を受賞		機関名	農産園芸課 企画調整グループ
年月日	令和4年6月18日	場所	Aichi Sky Expo 愛知県国際展示場 (愛知県常滑)	
指導対象	愛媛県農山漁村生活研究協議会長	連携機関	愛媛県農山漁村生活研究協議会 各地方局・支局地域農業育成室	
普及指導内容	<p>○県は、平成12年度から食農教育を推進する事業を実施している。</p> <p>○事業では、愛媛県農山漁村生活研究協議会（会長：小野山かをり）が小学生等を対象に「食文化普及講座」を開催し、郷土料理の普及・継承に取り組んでいる。</p> <p>○これは「第2期えひめ・未来・子育てプラン（後期計画）」や「第3次食育推進計画」等にも位置づけられ、普及指導員等がこの活動を支援している。</p> <p>○今回、これまでの活動の功績が評価され、「第6回食育活動表彰ボランティア部門」において消費・安全局長賞を受賞し、「第17回食育推進全国大会 in あいち」において表彰を受けた。</p>			
結果と今後	<p>○同会長は、「これまでの活動を評価いただき有難い。他の受賞団体や出展団体の先進的な取組みを今後の食育活動に活かしたい」と前向きな発言があった。</p> <p>○9月7日に開催予定の「食農教育フォーラム」（松前町）において受賞を報告するとともに、今後とも食農教育活動の展開を支援していく。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>表彰状を手にする会長</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>協議会発行のレシピ冊子（2007）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>講座で鯛の捌き方を指導</p> </div> </div>				

標 題	「農山漁村は女性の活躍無限大∞」男女共同参画の意識向上に向けた研修会を開催		機関名	農産園芸課 企画調整グループ
年月日	令和4年6月7日	場所	愛媛県男女共同参画センター (松山市清水)	
指導対象	農山漁村女性リーダー等 36人	連携機関	松山空港利用促進協議会	
普及指導内容	<p>○農山漁村における男女共同参画への意識向上を目的に研修会を開催した。</p> <p>○松山空港利用促進協議会エアポートプロモーションディレクター白石朋子氏を講師に迎え、「農山漁村は女性の活躍無限大∞農山漁村が（持続可能な日本へと）女性活躍を牽引する」と題して、客室乗務員や特別支援学校（講師）でのご経験を基に、女性の社会参画の必要性等についてご講演いただいた。</p>			
結果と今後	<p>○参加者から「海外や日本の歴史等、これまでと異なる視点から女性活躍の実態を知ることができた」「活動を振り返り今後に活かしていきたい」といった声が伺えた。</p> <p>○各地方局や支局でも研修会等を開催することとしており、「愛媛県農山漁村における男女共同参画に関する方針」に基づき、今後も積極的に支援していきたい。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-end;"> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>「愛媛県農山漁村における男女共同参画に関する方針」 (令和3年3月策定) 第3次愛媛県男女共同参画計画等を踏まえて、施策の推進方向や令和7年に向けた具体的な推進目標を定めたもの。</p> </div> <div style="width: 30%; text-align: center;">  <p>問いかけに答える参加者</p> </div> <div style="width: 30%; text-align: center;">  <p>海外での経験を基に講演</p> </div> </div>				

標 題	「ひめの凜」の中干講習会の開催		機関名	農産園芸課 高度普及推進グループ
年月日	令和4年6月22日～6月30日	場所	県内7カ所（延べ8回）	
指導対象	ひめの凜認定栽培者ほか（241人）	連携機関	JA（全農、周桑、未来、東宇和、えひめ南、越智今治、今治立花）	
普及指導内容	<p>○管理記録のデータを基に、田植え30日後の中干し開始や中干し期間（10日間）の重要性等について、栽培管理ポイントを資料（マニュアル等）に基づき解説。</p> <p>○また、「いもち病」や「トビイロウンカ」の早期発見と適期防除の必要性を指導。</p> <p>○現地と農水研のリアルタイム通信にタブレットを活用し、作物の生育診断などを試験的に実施した。</p>			
結果と今後	<p>○講習会に用いた中干し資料は県ホームページで公開し、認定栽培者等への周知を図る予定。</p> <p>○7月には穂肥講習会を予定し、令和4年産のひめの凜の高品質・良食味米生産につなげる。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>中干しの実施時期 重要</p> <p>☆中干し：過剰な分げつを抑制し、稲体を健全にする管理</p> <p style="border: 1px dashed blue; padding: 2px; text-align: center;">◎田植え後30日に天候に関係なく中干しを開始</p> <p style="font-size: small;">※田植えの早晚にかかわらず必ず実施 ※種無し分げつの多い場合は、状況を見て実施</p> <p style="border: 1px dashed green; padding: 2px; text-align: center;">中干しの実施期間は、10日間を遵守</p> <p style="font-size: small;">※乾燥条件が満たず、田面が乾く場合は走り水を実施！ ※田植え後30日以内（幼穂形成期）までに中干しは終了すること！</p> <p style="background-color: purple; color: white; font-size: small; padding: 2px;">幼穂形成期～出穂10日後までは田面を乾燥させない！</p> </div> <div style="width: 30%; text-align: center;">  <p>リアルタイム通信による質疑応答</p> </div> <div style="width: 30%; text-align: center;">  <p>現地での栽培講習</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> 中干し時期と期間 リアルタイム通信による質疑応答 現地での栽培講習 </div>				

標 題	「甘平」の裂果対策の実証に向けた生育確認		機関名	農産園芸課 高度普及推進グループ
年月日	令和4年6月10日～24日	場所	全域	
指導対象	「甘平」生産農家、担当普及指導員	連携機関	各局・支局普及機関	
普及指導内容	<p>○「甘平」の裂果対策技術の確立に向けて、各地方局・支局の普及機関の現地実証ほ13カ所の立地条件や生育状況を確認し、深耕等土壌改良による根域拡大や水分センサーを用いたかん水などの栽培管理技術について協議、助言した。</p>			
結果と今後	<p>○本年度の着果は、昨年度の豊作の影響で全般に3割程度少ない上、裂果しやすい奇形果の発生も多い傾向。</p> <p>○春先からの降雨が少なく、細根の生育が阻害され、梅雨明け後の高温乾燥により、吸水が不安定となりやすい状況。</p> <p>○引き続き、各実証ほの生育状況の確認と対策技術の実証効果を検証していく。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> 左：土壌乾燥で衰弱した表層細根 右：裂果しやすい奇形果 </div>				

標 題	東予地区でさといもの栽培管理の意識統一		機関名	高度普及推進グループ
年月日	令和4年6月28日	場所	東予管内さといもほ場	
指導対象	東予地区さといも技術協議会 ※JAグループ(おちいまばり、周桑、えひめ未来、うま)	連携機関	JA全農えひめ、愛媛県	
普及指導内容	<p>○令和4年産さといもにおける今後の栽培管理のポイントを確認するために各JAの4ほ場を巡回し、現地で技術対策を検討。</p> <p>○高温・乾燥による葉焼けや生育不良が懸念されるので、定期的なかん水の実施により芋の肥大を促進させるほか、疫病やハダニ等の病害虫の予防的防除を徹底することなどを申し合わせた。</p>			
結果と今後	<p>○JA担当者からは、「各地域の栽培管理や生育状況、注意点が把握できたので、農家指導に役立てたい」との声が上がった。</p> <p>○今後も関係機関と連携し当協議会活動を支援するとともに、さといもの生産性向上に向け、栽培指導に取り組む。</p>			
<p>【東予地区さといも技術協議会】 東予地区のさといも生産者の栽培技術の高位平準化を図るため、全農えひめ、農業協同組合、愛媛県等の機関で構成する協議会</p>				
			栽培管理状況を確認	

■■■ 情報の問合せ先一覧表 ■■■

機関名	所在地および連絡先
東予地方局農林水産振興部 農業振興課	西条市丹原町池田 1611 TEL:0898-68-7322 FAX:0898-68-3056
東予地方局農林水産振興部 農業振興課地域農業育成室 四国中央農業指導班	四国中央市中之庄町 1684-4 TEL:0896-23-2394 FAX:0896-24-3697
東予地方局農林水産振興部 今治支局 地域農業育成室・産地戦略推進室	今治市旭町 1-4-9 TEL:0898-23-2570 FAX:0898-22-9724
東予地方局農林水産振興部 今治支局地域農業育成室 しまなみ農業指導班	今治市伯方町木浦甲 4637-3 TEL:0897-72-2325 FAX:0897-72-1912
中予地方局農林水産振興部 農業振興課	松山市北持田町 132 TEL:089-909-8762 FAX:089-909-8395
中予地方局農林水産振興部 農業振興課地域農業育成室 久万高原農業指導班	上浮穴郡久万高原町入野 263 TEL:0892-21-0314 FAX:0892-21-2592
中予地方局農林水産振興部 農業振興課地域農業育成室 伊予農業指導班	伊予市市場 127-1 TEL:089-982-0477 FAX:089-983-2313
南予地方局農林水産振興部 農業振興課	宇和島市天神町 7-1 TEL:0895-22-5211 FAX:0895-22-1881
南予地方局農林水産振興部 農業振興課地域農業育成室 鬼北農業指導班	北宇和郡鬼北町興野々1880 TEL:0895-45-0037 FAX:0895-45-3152
南予地方局農林水産振興部 農業振興課地域農業育成室 愛南農業指導班	南宇和郡愛南町城辺甲 2420 TEL:0895-72-0149 FAX:0895-73-0319
南予地方局農林水産振興部 八幡浜支局 地域農業育成室・産地戦略推進室	八幡浜市北浜 1-3-37 TEL:0894-23-0163 FAX:0894-23-1853
南予地方局農林水産振興部 八幡浜支局地域農業育成室 大洲農業指導班	大洲市田口甲 425-1 TEL:0893-24-4125 FAX:0893-24-5284
南予地方局農林水産振興部 八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班	西予市宇和町卯之町 3-434 TEL:0894-62-0407 FAX:0894-62-5543